

平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社メディックグループ
 コード番号 2369 URL <http://www.medibic.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 橋本 康弘
 (氏名) 門井 豊

TEL 03-6744-2882

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	207	—	△542	—	△540	—	△525	—
20年12月期第3四半期	258	△62.4	△299	—	△854	—	△882	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	△2,984.06	—
20年12月期第3四半期	△5,005.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	614	482	75.6	2,638.42
20年12月期	1,107	932	82.5	5,185.21

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 465百万円 20年12月期 913百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300	△25.5	△738	—	△737	—	△733	—	△4,158.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第3四半期 176,242株 20年12月期 176,242株

② 期末自己株式数 21年12月期第3四半期 一株 20年12月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年12月期第3四半期 176,242株 20年12月期第3四半期 176,242株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、本年2月20日に「事業再生プラン2009」を発表し、高収益事業への経営リソースの集中、ならびにコストの削減により、営業損益の早期黒字化を目標として事業を推進しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は207,291千円、経常損失は540,697千円、四半期純損失は525,916千円となりました。

事業の種類別セグメントの業績で示すと、次のとおりであります。

バイオマーカー創薬事業

バイオマーカー創薬支援事業におきましては、PGx試験支援サービス、情報処理システム開発、及びRNA増幅試薬の販売等、基盤技術であるPGx技術に関連する事業を推進しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、PGx検査の普及と適正な利用を目的として、日本臨床検査医学会、日本人類遺伝学会および日本臨床検査標準協議会の三者により「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」が暫定的に策定されるなど、外部環境における基盤整備が進む中、当社PGx試験支援サービスでは、サービスの拡充などに努め、大手製薬メーカーを中心とした顧客から順調に受注を獲得しております。また、基盤技術領域で培ってきたシステム構築技術を活用して開発したパッケージソフトウェア「MDSS 配合設計データベース」につきましては、MDSSの機能をより高度化・効率化する「自動モデル化・シミュレーターオプション」を販売、メディアの活用や展示会への出展など積極的な広報・営業活動を展開致しました。特にゴム業界におきまして本製品の有用性を高く評価いただくことができ、ここにリソースを集中し営業強化してまいりました。また、RNA増幅試薬「Ovation®シリーズ」では、製品ラインナップを拡大し、新製品「WT-Ovation™ One-Direct RNA Amplification System」の販売を開始致しました。微量サンプルからの遺伝子発現解析を容易にするキットとして臨床医学・薬理学・免疫学分野を中心に様々な研究分野でご好評いただいている遺伝子発現解析用試薬「Ovation® シリーズ」は総じて堅調に推移いたしました。以上の結果、バイオマーカー創薬支援事業の売上高は116,040千円となりました。

創薬事業

創薬事業におきましては、抗がん剤Glufosfamideの臨床開発を中心に事業を推進しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、第Ⅱ相臨床試験に向けて、当該化合物のライセンスアウト等について、国内製薬メーカーにのみ行ってきた検討・交渉を、新たにアジアを中止とした海外の製薬メーカー、ベンチャー企業まで範囲を拡大してまいりました。現時点におきまして、複数のパートナー候補との間で積極的な検討が進められております。なお、創薬事業におきましては売上高の計上はありません。

テラーメイド健康管理支援事業

テラーメイド健康管理支援事業におきましては、基盤技術における経験やノウハウをベースとした個人向け健康・医療市場におけるサービスの提供を中心に事業を推進しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、DNA検査をキーとした健康管理トータルサービスである「DNAプライベートバンク」に関し、サービス内容をより深く理解していただき多くの会員獲得に繋げるために、プライベートクラブ会員専用サイトへの広告掲載、IR説明会や個別ミーティングでのサービス訴求など積極的にPR活動に努めてまいりました。また、会員の皆様により充実したソリューションサービスを提供するため、日本ダグラスラボラトリーズ株式会社と「サプリメントの提供」、日本パーソナルトレーナーズ協会と「運動アドバイスの提供」に関する契約をそれぞれ締結し、各分野における最高品質のサービスをご提供できる体制を整え、個人のみならず法人までを対象として幅広く営業活動を行ってまいりました。以上の結果、テラーメイド健康管理支援事業の売上高は60,411千円となりました。

投資・投資育成事業

投資・投資育成事業におきましては、ファンドの管理運営、営業有価証券売買等を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、営業投資有価証券の売却及びファンド管理運営に関する売上高30,839千円を計上しております。なお、各投資先の事業状況等につき厳正に精査を行いました結果、営業投資有価証券評価損として216,181千円を計上いたしました。

その他事業

その他事業として、特記すべき売上計上はございません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は614,958千円となり、前連結会計年度末に比べ492,235千円減少いたしました。主な要因としては、現金及び預金の減少243,211千円、受取手及び売掛金の減少43,855千円、営業投資有価証券の減少259,625千円、投資損失引当金の減少101,516千円によるものであります。負債は132,382千円であり、主に買掛金の減少21,211千円、前受金の減少39,735千円、受注損失引当金の減少11,400千円により、前連結会計年度末に比べ42,673円の減少となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ243,211千円減少し、43,571千円となりました。当第3四半期連結累計期間の概況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは277,748千円の支出となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失529,323千円、投資有価証券評価損216,181千円、売上債権の減少43,855千円、仕入債務の減少21,084千円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、35,438千円の収入となりました。これは主に、関係会社出資金の分配による収入12,750千円、敷金及び保証金の回収による収入23,769千円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは2,216千円の支出となりました。これは、長期借入金の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年2月20日に公表しました平成21年12月期(平成21年1月1日～平成21年12月31日)の通期連結業績予想を平成21年11月6日に下記のとおり修正いたしております。

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	549	△285	△285	△275	△1,560.35
今回発表予想 (B)	300	△738	△737	△733	△4,158.86
増減額 (B-A)	△249	△453	△452	△458	—
増減率 (%)	△54.6	—	—	—	—

当社グループでは、本年2月20日に「事業再生プラン2009」を発表し、高収益事業への経営リソースの集中とコスト削減に努めてまいりました。各事業部門では、積極的な営業活動を展開してきた結果、基盤事業であるPGx試験支援サービスについては、受注の拡大を図ることができました。しかしながら、国内外の景気後退の影響もあり、バイオマーカー創薬支援事業のパッケージソフトウェア販売や、テーラーメイド健康管理支援事業の「DNAプライベートバンク」会員の獲得に時間を要していること、世界的な投資環境の冷え込みにより、投資・投資育成事業における営業投資有価証券の売却交渉が長期化していることなどから、売上高につきましては当初予想を下回る見込みであります。利益面につきましては、高収益事業への集中とともにコストの削減に努めてまいりましたが、売上高の伸び悩み、保有資産の早期キャッシュ化を優先したこと、及び営業投資有価証券等の評価減を実施したことなどにより、当初予想を下回る見込みであります。

なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,571	286,783
受取手形及び売掛金	17,841	61,697
営業投資有価証券	338,401	598,026
投資損失引当金	△35,243	△136,760
商品及び製品	1,894	6,756
仕掛品	27,911	37,382
貯蔵品	6,724	—
その他	38,115	45,600
貸倒引当金	△4,810	—
流動資産合計	434,405	899,487
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	15,789	19,319
有形固定資産合計	15,789	19,319
無形固定資産		
その他	4,841	3,695
無形固定資産合計	4,841	3,695
投資その他の資産		
投資有価証券	33,097	33,321
関係会社株式	56,805	56,805
出資金	15,838	16,239
関係会社出資金	22,950	42,802
敷金及び保証金	29,595	29,962
その他	5,170	9,095
貸倒引当金	△3,535	△3,535
投資その他の資産合計	159,921	184,692
固定資産合計	180,552	207,706
資産合計	614,958	1,107,193

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	694	21,906
未払費用	30,517	41,169
未払法人税等	4,055	7,133
前受金	41,376	81,112
受注損失引当金	1,884	13,285
その他	53,852	9,012
流動負債合計	132,382	173,620
固定負債		
その他	—	1,436
固定負債合計	—	1,436
負債合計	132,382	175,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,058,391	2,058,391
資本剰余金	2,591,588	2,591,588
利益剰余金	△4,113,821	△3,587,905
株主資本合計	536,158	1,062,074
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△71,157	△148,223
評価・換算差額等合計	△71,157	△148,223
新株予約権	16,941	14,759
少数株主持分	633	3,525
純資産合計	482,576	932,137
負債純資産合計	614,958	1,107,193

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	207,291
売上原価	346,003
売上総損失(△)	△138,712
販売費及び一般管理費	403,395
営業損失(△)	△542,107
営業外収益	
受取利息	282
為替差益	1,519
その他	1,455
営業外収益合計	3,257
営業外費用	
支払利息	147
持分法による投資損失	1,422
その他	276
営業外費用合計	1,846
経常損失(△)	△540,697
特別利益	
受注損失引当金戻入額	11,400
特別利益合計	11,400
特別損失	
固定資産売却損	26
特別損失合計	26
税金等調整前四半期純損失(△)	△529,323
法人税、住民税及び事業税	1,515
少数株主損失(△)	△4,922
四半期純損失(△)	△525,916

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	34,022
売上原価	225,525
売上総損失(△)	△191,503
販売費及び一般管理費	123,168
営業損失(△)	△314,671
営業外収益	
受取利息	48
為替差益	1,021
その他	302
営業外収益合計	1,372
営業外費用	
支払利息	3
持分法による投資損失	707
その他	75
営業外費用合計	786
経常損失(△)	△314,085
特別損失	
固定資産売却損	26
特別損失合計	26
税金等調整前四半期純損失(△)	△314,111
法人税、住民税及び事業税	505
少数株主損失(△)	△4,912
四半期純損失(△)	△309,704

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成21年1月1日
至 平成21年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△529,323
減価償却費	5,114
投資有価証券評価損益(△は益)	216,181
有形固定資産売却損益(△は益)	26
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,810
投資損失引当金の増減額(△は減少)	10,825
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△11,400
受取利息	△282
支払利息	147
為替差損益(△は益)	△1,519
持分法による投資損益(△は益)	1,422
売上債権の増減額(△は増加)	43,855
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,608
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	5,939
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,084
その他	△7,953
小計	△275,631
利息及び配当金の受取額	282
利息の支払額	△147
法人税等の支払額	△2,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	△277,748
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△423
有形固定資産の売却による収入	7
無形固定資産の取得による支出	△2,340
貸付金の回収による収入	1,675
敷金及び保証金の回収による収入	23,769
関係会社出資金の分配による収入	12,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	35,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△2,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,216
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,314
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△243,211
現金及び現金同等物の期首残高	286,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,571

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	バイオマーカー創薬支援事業(千円)	創薬事業(千円)	テーラーメイド健康管理支援事業(千円)	投資・投資育成事業(千円)	その他事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	14,874	—	11,365	7,782	—	34,022	—	34,022
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	14,874	—	11,365	7,782	—	34,022	—	34,022
営業損失(△)	△ 3,260	△ 226	△ 22,644	△ 211,832	—	△ 237,963	△ 76,708	△ 314,671

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	バイオマーカー創薬支援事業(千円)	創薬事業(千円)	テーラーメイド健康管理支援事業(千円)	投資・投資育成事業(千円)	その他事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	116,040	—	60,411	30,839	—	207,291	—	207,291
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	116,040	—	60,411	30,839	—	207,291	—	207,291
営業利益又は営業損失(△)	1,967	△ 1,125	△ 59,962	△ 233,816	—	△ 292,937	△ 249,170	△ 542,107

(注) 1. 事業の区分は、当社ビジネス形態の特性を考慮して区分しております。

2. 各区分の事業の内容

- (1) バイオマーカー創薬支援事業……………バイオマーカーを用いた新薬開発を総合的、複合的に支援するソリューションを提供するもの。受託解析サービス、データ解析サービス、研究支援プロダクトの販売、システム構築、治験コーディネートサービス、及び、PGx試験サポート業務。
- (2) 創薬事業……………自社保有の新薬候補化合物を当社のデータマイニング技術を用いて開発し、付加価値を高めていくもの。
- (3) テーラーメイド健康管理支援事業……………個人を対象に健康・医療市場でのサービスを提供するもの。クリニックとの提携によるDNA検査に基づく健康支援サービス、及び、健康支援プロダクト販売。
- (4) 投資・育成事業……………ファンドの管理運営、営業有価証券売買等。
- (5) その他事業……………研究者を対象とするセミナーやフォーラム等の開催等。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)
	金額(千円)
I 売上高	258,743
II 売上原価	152,778
売上総利益	105,964
III 販売費及び一般管理費	404,978
営業損失(△)	△299,013
IV 営業外収益	22,532
V 営業外費用	578,491
経常損失(△)	△854,973
VI 特別損失	25,940
税金等調整前四半期純損失(△)	△880,913
法人税、住民税及び事業税	1,215
四半期純損失(△)	△882,129

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年1月1日 至平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△880,913
減価償却費	6,636
投資有価証券評価損	7,513
のれん償却額	17,820
固定資産売却損	301
受取利息	△22,050
支払利息	49
為替差損益(△は差益)	316
持分法による投資損失	578,104
売上債権の増減額(△は増加)	6,611
たな卸資産の増減額(△は増加)	△31,829
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,231
買掛金の増減額(△は減少)	△27,212
前受金の増減額(△は減少)	27,208
未払費用の増減額(△は減少)	4,459
株式報酬費用	4,866
事務所解約手数料	14,000
その他資産負債の増減	△21,934
小計	△317,284
利息の受取額	6,991
利息の支払額	△68
法人税等の支払額	△1,636
法人税等の還付額	31,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	△280,900
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,736
有形固定資産の売却による収入	692
無形固定資産の取得による支出	△620
関係会社株式等の取得による支出	△17,820
貸付による支出	△22,000
貸付金の回収による収入	306,297
敷金等の支出	△21,324
敷金等の返還による収入	17,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	255,571
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△2,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,502
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	7
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,823
VI 現金及び現金同等物の期首残高	302,924
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	275,100